

みずほFGの生き残り改革、銀行・信託・証券に横串を刺す「カンパニー長」の権限は？

財界

Z A I K A I
a Japanese business biweekly

検証 停電や価格の乱高下はないのか？
守る**東京電力**
攻める**東京ガス、JX...**
主戦場・首都圏にみる
電力市場争奪戦

2016 4/5

◎インタビュー
大阪商工会議所会頭
(大阪ガス会長)
尾崎 裕
太平洋セメント社長
福田 修二

本拠地・仙台から日本全国、そして中国、欧米など世界市場を睨む
アイリスオーヤマ社長・大山健太郎の
環境激変期こそ、需要創造経営に徹して
村田 博文



表紙の人
日本ハム社長
末澤 壽一
撮影 齊田 勤

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 日本ハム株式会社 編集局

私の好きな場所

Place

ゲイト社長
五月女 圭一

Soihome Keichi



墨田区の町工場で育ったので、小さい頃から仕事をするのも、自分でお金を稼ぐことも当たり前。前の環境で育ちました。高校生の頃、中学の恩師に教え子の面倒を頼まれて学習塾を開いたのを皮切りに、大学時代も多岐にわたる事業を手掛けてきました。

しかし、ある時、事業を営む両親の様子がおかしいことに気づき、問い糺すと、家業が倒産寸前になっていることを知りました。両親を説得して経営を任せてもらい、事業を立て直すことになりました。負債の返済までは時間がかかったものの、事業は2年で黒字化できました。その後、会社勤めをしたこと

がなかったため、もっと上を目指そうと、上場企業のコンサルティング会社に入社しました。がむしゃらに働き続けた結果、副交感神経がおかしくなり、身体が動かなくなっていました。会社も辞め、病院に通う日々の中、心療内科で出会ったインターンの先生に救われて、社会復帰することができました。

ある意味、一度死んだ身なので、今は生きているだけでありがたく、人のため、社会に貢献していきたいと思っています。

現在は、時間、空間、楽しさ、喜びを創造する店舗経営をする傍ら、法政大学で学生を教えるなど、自分にできる社会貢献をしたいと思っています。

身体を壊したこともあり、健康や食べ物に気を付けているのですが、ある時、経営者仲間との交流で山梨へ行く機会がありました。産地直送の食材の生産現場を見に行ったのです。

そこでは、農作業で余った野菜を鶏の餌にして、鶏が卵を生む。そんなエコサイクルが構築

されてきました。

飲食をやっているため、改めてエコサイクルを考えようと、週末に山梨に通い、土いじりをして、地元の人とご飯を食べ、そこで仕事もするようになりました。その中で、地元の人たちから、移住者増、観光振興、山梨県産商品の販路拡大などの相談を受けるようになりました。

それならばと、山梨に自分たちの活動拠点をづくり、一軒家をまるごと一戸借り、畑を借り、

本格的に活動を開始しました。当初は社員向けの施設として使っていましたが、もともと多くの人に山梨の魅力を体験してもらいたいと、現在では「山梨石和シェアエコハウス」という名前で、その空間をレンタルスペースとして貸し出しも始めています。山梨での体験から多くのことに気付かされました。山梨に限らず、地域の魅力を多くの方に体験していただき、地域活性化に貢献できたと思っています。

山梨県



山梨の畑で畑仕事をする五月女さん(上)と「山梨石和シェアエコハウス」(下)